

みやぎ子育て・女性健康支援センター一便り

〒982-0817 仙台市太白区羽黒台2 1 - 2 5 一般社団法人宮城県助産師会内

☎022-229-2388 fax022-395-4228 ✉siensenter@gmail.com 平成30年2月吉日発行

ご挨拶

みやぎ子育て・女性健康支援センター

代表 石川 初 枝

副代表 田村雪子 (集計・文責)

新年を迎え、会員の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃のご支援に感謝致します。

今年度も皆様のご支援、ご指導を頂きながら、電話・メール相談、思春期保健教育、マタニティスクールを充実させていきたいと年頭にあたり、身を引き締めております。

今回は、みやぎ子育て・女性健康支援センター上半期集計に多少の考察を加えてご報告させていただきます。皆様には、お時間があつたらお時間を、PCが得意な方はPC入力を、講演が得意な方は講演を、沐浴指導が好きな方はこの部分だけでも、SNSを活用した広報出来る方も、もちろん電話、メール相談をお受けして下さる方もお力を貸して頂ければと思います。

みやぎ子育て・女性健康支援センターへの入会は、宮城県助産師会に入会していること、そして、入会登録をして頂く(無料)だけです。定期的にメールで情報を発信しております。また、支援センター所有の子育て体験グッズの貸与をしております。定期的なセンター連絡会でケース検討、情報交換をしておりますので、不安はないかと思ひます。

よろしくお願ひ致します。



あおもり思春期研究会 第24回 市民講座へ

上記講演会の講師依頼を頂き、青森へ行って参りました。テーマは、仙台市委託事業「せんだい妊娠ほっとライン」開設からの経過と現況と題した講演会です。

組織力と連携、広報がキーポイントと考え、お忙しい中、宮城県助産師会会長 後藤美子が前半を、現況は田村雪子がお話させて頂きました。会場は青森駅から徒歩3分のワ・ラッセでした。青森に妊娠ほっとラインの立ち上げたい思いに答えることが出来たか、今後の青森からの情報発信を待っております。(文責田村雪子)



あおもり思春期保健研究会
会長・事務局
さんとともに

電話メール相談上半期報告

助産師会会員の皆様には、日頃から広報活動、またご支援、尽力頂いております。今回この紙面を借りて、平成29年度4月から10月までの相談内容を今後の展望も加えご報告させていただきます。

電話相談は、合計119件、メール相談は46件でありました。今回は電話相談から考察させていただきます。

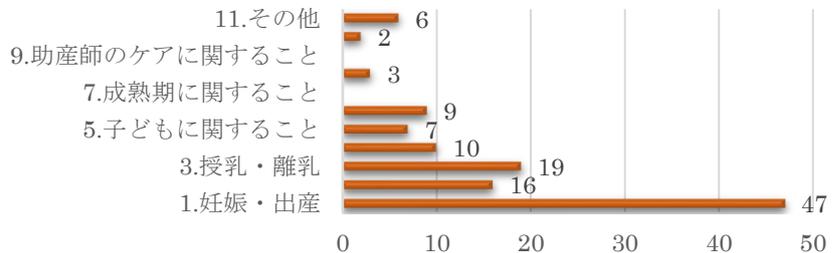
電話相談は、妊娠・出産に関するものが多く、47件、次いで授乳・離乳に関するもの19件、母に関するもの16件、以下グラフの通りでした。この妊娠・出産に関するものが多い傾向は、仙台市委託「せんだい妊娠ほっとライン」を受託した平成25年度以降続いています。仙台市ではこの広報カードを印刷し関連機関に配布しています。また、仙台市HP、市政便りに情報を載せて下さっています。

受託時の仙台市の望みは、中、高校生など若年者の妊娠関連の相談に寄り添ってほしいとのことでした。若年者は妊娠を誰にも相談出来ずに、自殺まで追い込まれるのですが、グラフ2のように、若年者からの相談が少ないのが現状です。この間9件11%でした。今後この若い年代にどのように広報していくか考えて参ります。

次に相談者がこちらの電話相談をどこで知ったかをグラフ3に示しました。ご覧のように、ネットでの検索が73%でした。そして、仙台市市政便りが4%、仙台市ネット/HPが3%でした。その他12%は、講演会での広報によるものと、みやぎ開業助産師MAPからの情報収集でした。

今後、若年者に情報を届けるためには、ネット関連の充実がポイントになると思われます。プライバシーの保護を守り、情報発信することを勉強していきます。

グラフ1 電話相談内容 n=119



	1.妊娠・出産	2.母に関する事	3.授乳・離乳	4.子育て	5.子どもに関する事	6.思春期に関する事	7.成熟期に関する事	8.更年期に関する事	9.助産師のケアに関する事	10.事業の問い合わせ等	11.その他
■ 系列1	47	16	19	10	7	9		3		2	6

ひとりで悩んでいませんか？

せんだい妊娠ほっとライン

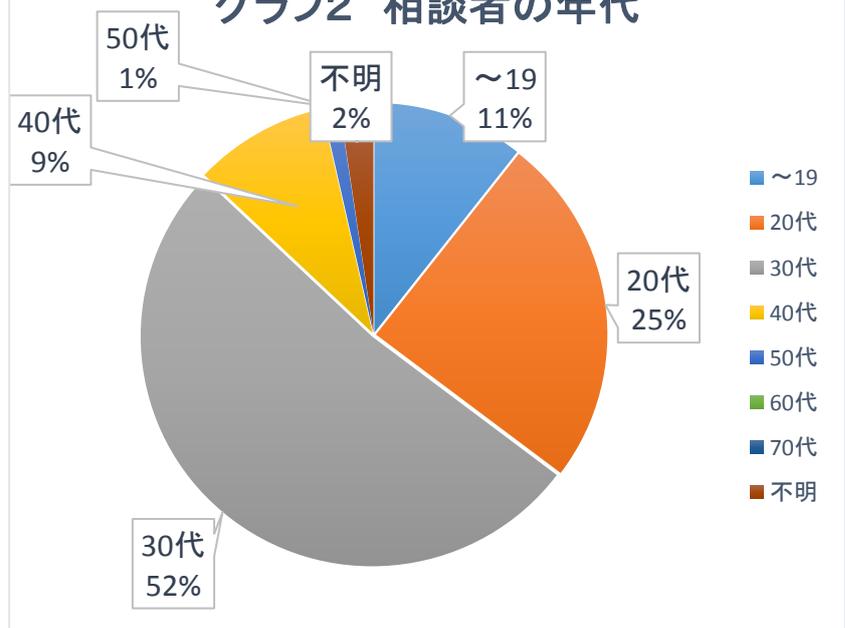
思いがけない妊娠など、悩みを抱えている方へ話してみませんか？

電話 / 022-229-2388 (月・水・金 / 10時～19時まで)
メール / siensenter@gmail.com
(返信は上記の時間帯になります。)

※電話およびメールでの相談を受け付けております。
※秘密は厳守します。
※仙台市から(一社)宮城県助産師会「みやぎ子育て・女性健康支援センター」への委託により実施しています。
相談には専門の助産師が応じます。
「みやぎ子育て・女性健康支援センター」では、他に思春期・妊娠・出産・子育て・母乳・不妊などのご相談に応じています。

仙台市ホームページ
<http://www.city.sendai.jp/kodomo-chiiki/curashi/kenkotofukushi/kosodate/sodan/zenpan/ninshin.html>

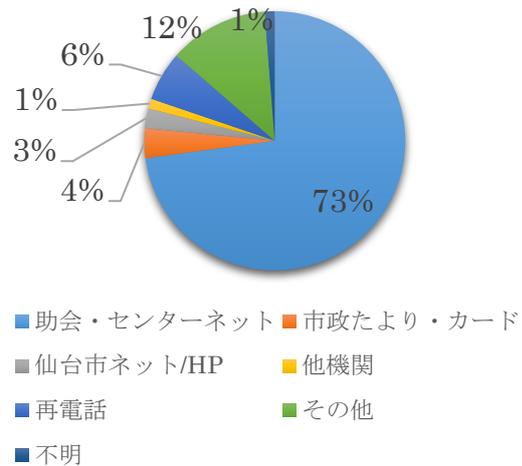
グラフ2 相談者の年代





裏面がみやぎ子育て・女性健康支援センターのご紹介になっています。

グラフ3 相談電話の情報収集先



大和町
育児支援情報冊子
こちらからも相談が入ります。

気になる電話相談・・・この頃の傾向

心の病気を抱えている方が多い?

他に、不登校・生活保護世帯・母子家庭・・・

- 統合失調症、パニック障害 発達障害 産後うつ病・・・
- 会話で違和感、理解出来ない思考回路に気づいたら「心のご病気はないですか」と尋ねます。



「はい、今通院しています。〇〇です」

〈考えかたと支援〉

基本的に傾聴としています。受診の状態、家族の支援、保健師さん(地域の支援)の関与を確認します。話したいから電話をかけてくると思われます。担当地区保健師さんに連絡することもあります。

交錯するスマホ、ライン、PC情報

- 当会の情報収集先は、ネット検索が多い。
- 相談者は全国からアクセスしてきます。
- 中・高校生からのアクセスが少ない。
- 妊娠管理アプリ
- 着床出血
- 妊娠の症状
- 出会い系サイト
- ソープ
- 特別養子縁組

これの中・高校生に配布出来ない。
SNS勉強予定(事務局)



PC、スマホから情報をとるが、理解出来ずに電話を寄こします。

思春期保健講話「命の授業」報告

○名取市立高館小学校5・6年生さん

担当 支援センター 千田道代

12月13日行ってきました。「命を大切に授業を行いたい」との依頼を受けて、どのようにしたら5年生6年生の子ども達に分かりやすく伝えられるか、と悩みました。

「赤ちゃん抱っこ」と「妊婦ジャケット」を体験してもらうことにしたのですが、時間内に収まるか不安でした。

助産師会支援センター所有の赤ちゃん人形を総出演させても妊婦ジャケットが足りない為、光ヶ丘スペルマン病院からも借用し、不安要素を減らして臨んだところ、時間内に収まり、子ども達が目を輝かせて聴いてくれました。

準夜の前にもかかわらず手伝ってくれた助産師伊藤智恵子さんと、講演を企画してくださった学校の諸先生方に感謝しております。

12月24日、河北新報に掲載されました。



○大崎市立東大崎小学校 5・6年生さん

担当 支援センター副代表田村雪子

思春期の体の変化と共に、この時期に SNS のお話をしたいとのご依頼で、スライドを作りました。

SNS、まだ早いのでは？ でももう使っているのが現状です。リスク回避の視点から、スライドを作成しました。小学生さんに、ご理解頂けたようです。

- ・ SNS の意味が分かりました。
- ・ 知らない人とはつながりません。
- ・ ラインが危険なこと、分かりました。
- ・ 楽しかったです。

(赤ちゃん人形を成長の説明に持参しました。

抱っこ体験が出来、楽しかったようです)

- ・ 説明が分かり易かったです。



感想を届けて頂きました。ありがとうございます。

編集後記

word の世界は昔から得意です。Excel は苦手ですが目が疲れますが頑張ります。またツイッターの活用も覚えようと新年の豊富にしました。パワーポイント作りはお教えます。でも何かとドジです。今年もよろしくお世話の程お願い致します。